

平成 30 年度公益財団法人沖縄県保健医療福祉事業団事業報告

1 事業概要

平成 30 年度は、沖縄県保健医療福祉事業団（以下「事業団」という。）が設立 45 周年を迎え、公益財団法人にふさわしい役割を積極的に果たしていくため、関係団体との連携をさらに広げながら、県民の保健及び医療の向上と福祉の増進を目的とした健康づくり運動普及啓発事業、臓器移植普及推進事業、ファミリーハウス事業、勤労者福祉事業の 4 事業の充実を図った。

健康づくり運動普及啓発事業では、平成 27 年の都道府県別生命表において沖縄県の全国順位が男性 36 位、女性 7 位とさらに後退していることを鑑み、沖縄県が策定した「健康おきなわ 21（第 2 次）～健康・長寿おきなわ復活プラン～」を踏まえ、栄養・運動・休養（メンタルヘルス）のバランスの取れた健康的な生活習慣を確立するための情報提供を行った。特に、働き盛り世代や若年層に焦点をあて、健康経営に特化したテレビ CM の導入や高校生の健康教室も 2 校から 4 校に増やした。またイベントにおいても、若者が参加しやすいような内容に工夫した。

臓器移植普及推進事業では、臓器移植コーディネーターを 2 名配置し、あっせん業務をはじめ、臓器移植推進の普及啓発事業を継続して実施した。人材育成として、TPM（スペイン研修）に参加した医師を中心に急性期医療に関わる医療従事者を対象としたセミナーを行った。県民に対しては、バス車内 CM 放送のほか、イベント等を活用し普及啓発を行った。

ファミリーハウス事業では、離島など自宅から遠く離れ、本島の医療機関で治療を受ける子どもや付き添い家族の経済的な負担軽減を図り、心身ともに安らぐことができる宿泊施設「がじゅまるの家」の管理運営を行った。特に平成 30 年度は開所 10 周年を迎えたことから、記念事業として施設周辺の植樹整備を行った他、「がじゅまるの家」の周知を目的としたイベントを開催した。施設の利用においては平成 30 年度の利用者数は 3,969 人、稼働率は 65.3% となった。

勤労者福祉事業では、勤労者の福祉の向上等に取り組む団体が行う就労支援に対して必要経費を助成し、求職者の就労を支援することで労働者福祉の向上を図った。

平成 30 年度事業の概要は以下のとおりである。

- (1) 健康づくり運動普及啓発事業
 - ア 健康づくりイベントの開催
 - イ 健康づくり情報の提供
 - ウ スマートライフサポート事業
 - エ 助成事業
- (2) 臓器移植普及推進事業
 - ア 臓器移植コーディネーター受託事業
 - イ 医療機関の移植医療体制整備事業
 - ウ 県民への普及啓発事業
 - エ 日本臓器移植ネットワーク助成事業
 - オ 助成事業
 - カ 賛助会員の募集
- (3) ファミリーハウス事業
- (4) 勤労者福祉事業
- (5) 現有資産の活用
- (6) 事業拡充計画の実施状況
- (7) 資金運用

2 事業実績

(1) 健康づくり運動普及啓発事業

ア 健康づくりイベントの開催

(ア) 「ココカラプラスフェス」の開催

県民の健康づくりへの意識の底上げを図るため、主に健康づくりへの関心の薄い若年層をターゲットに「Well-being Expo ココカラプラスフェス」を開催し、健康情報を提供した。参加者数 1,156 人。

- ・日 時：平成 31 年 3 月 3 日（日）10：00～18：00
- ・場 所：沖縄コンベンションセンター展示棟
- ・後 援：沖縄県、宜野湾市教育委員会
- ・内 容：会場を“ほぐす”、“ととのえる”、“きたえる”の 3 つのテーマでゾーニングし、それぞれ体験型のブースを多数設けた。

また、会場内特設セミナーブースでの講演のほか、同時開催のイベントとして屋外でのウォーキングイベント、マラソンイベントも実施した。

○ブース出展数（計 40 企業・団体）：

<沖縄県健康産業協議会、沖縄 TLO・おきなわ健美ネットワーク、沖縄セルラー、沖縄ヤクルト、等>

○セミナー・講演：

- ① ダイエットアプリ活用セミナー（管理栄養士・道江美貴子）
- ② 島野菜で雛寿司づくり（野菜ソムリエ・徳元佳代子）
- ③ アーユルヴェーダに基づく体質診断セミナー（アーユルヴェーダビューティーカレッジ 代表 新倉亜希）

○屋外イベント：リレーマラソン・ウォーク：参加者数 147 人

(イ) 「健康づくりライブトーク」の開催

県民の健康づくりの動機づけになることを期待し、「免疫力アップで健康美人！運動・栄養・笑いでバランスの良い健康づくり」をテーマに琉球新報社と共催で「健康づくりライブトーク 2018」開催した。参加者数約 1,000 人。

- ・日 時：平成 30 年 10 月 8 日（月）13：00～16：00
- ・場 所：ロワジールホテル那覇 天妃の間
- ・内 容：【第一部】講師 山田邦子（タレント）

演題「大丈夫だよ、がんばろう！～笑いの力で免疫力アップ～」

【第二部】講師 白澤卓二（白澤抗加齢研究所所長、医学博士）

演題「免疫力を高める暮らし～アンチエイジングの基本は食事・運動・生きがい～」

(ウ) 「こころの健康づくりトーク」の開催

青・壮年期のメンタルヘルス対策として専門家を招聘し、「人生 100 年時代を楽しむストレスコントロール術」をテーマとした「こころの健康づくりトーク 2019」を沖縄タイムス社と共催で開催した。参加者数 750 人。

- ・日 時：平成 31 年 2 月 11 日（月）13：00～16：00
- ・場 所：ロワジールホテル那覇 天妃の間

・内 容：【第一部】講師 ガレッジセール(芸人)

トークショー「ガレッジ流ストレスも Enjoy 術」

【第二部】講師 中野信子（脳科学者・認知科学者・医学博士・
東日本国際大学教授）
演題「ストレスをパワーに変える脳科学」

(エ)「県民健康フェア」の開催

県民の健康づくりに対する意識の向上と取組みを促すことを目的に沖縄県医療保健連合（なごみ会）と連携して「県民健康フェア 2018」を開催した。

- ・日 時：平成 30 年 8 月 19 日（日）12：00～16：00
- ・場 所：沖縄コンベンションセンター展示場
- ・参加者数：延べ 1,500 人

(オ)「若年層の健康教室」の開催

進学や就職などによって、今後 1 人暮らしや寮生活など大きな環境の変化を迎える高校生を対象に、自らの健康や生活習慣について考えるきっかけを提供することを目的に、医師の監修のもとお笑い芸人の漫才やコント等を交えた健康教室を 4 校で開催した。

- a 沖縄県立泊高等学校午前部（全学年対象）
 - ・日 時：平成 31 年 1 月 18 日（金）11：20～13：10
- b 沖縄県立沖縄工業高等学校（3 年生対象）
 - ・日 時：平成 31 年 2 月 6 日（水） 8：50～10：55
- c 沖縄県立那覇商業高等学校（3 年生対象）
 - ・日 時：平成 31 年 2 月 8 日（金） 9：15～11：05
- d 沖縄県立本部高等学校（1・2 年生対象）
 - ・日 時：平成 31 年 3 月 13 日（水）13：45～15：35

出演者：演芸集団 FEC 所属芸人 4 組 8 名

監修医：糸数公（医師・沖縄県保健医療部保健衛生統括監）

(カ) 食育活動の推進

a 調理実習の実施

健康づくりの視点から体験型食育（調理実習）を沖縄県食生活改善推進員連絡協議会に委託し、名護市ほか 7 市町村で計 15 回実施した。

- ・期 間：平成 30 年 6 月～平成 31 年 2 月（参加者数：計 464 人）

b 食育講習会の実施

- ① 平成 30 年 8 月 10 日（金）カエプロジェクト料理教室（読谷村）
テーマ：「トリプルリスク解消で沖縄を元気に健康に！」
講 師：伊是名カエ 参加者数：30 人
- ② 平成 30 年 11 月 23 日（金）カエプロジェクト料理教室（読谷村）
テーマ：「初心者限定！男の料理教室」
講 師：上原かおり 参加者数：29 人
- ③ 平成 30 年 12 月 1 日（土）沖縄ガスショールームゆ〜くる（那覇市）
テーマ：「琉球料理で心と体元気に！」
講 師：宮國由紀江 参加者数：29 人
- ④ 平成 30 年 12 月 12 日（水）沖縄ガスショールームゆ〜くる（那覇市）
テーマ：「地域リーダースキルアップ支援事業」
講 師：宮國由紀江 参加者数：29 人

- ⑤ 平成 31 年 2 月 10 日（日）浦添市中央公民館
 テーマ：「パパっと時短！ヘルシークッキング！」 参加者数：23 人
 講師：沖縄県栄養士会（笠原寛子、宮里玲子、吉田洋子、長嶺由香）
- ⑥ 平成 31 年 2 月 23 日（土）うるま市健康福祉センターうるみん
 テーマ：「パパっと時短！ヘルシークッキング！」 参加者数：27 人
 講師：沖縄県栄養士会（笠原寛子、宮里玲子、吉田洋子、長嶺由香）

イ 健康づくり情報の提供

(ア) 「いきいき健康あいらんど」の発行

健康情報誌「いきいき健康あいらんど」を年 4 回（7 月、10 月、12 月、3 月）各 15,000 部発行し、公的機関、金融関係、事業所、病院等へ配布した。

また、モノレール各駅等において、勤労者、学生、主婦など一般への配布した他、平成 30 年度より県内ファミリーマート一部店舗への配布も開始した。沖縄県市町村職員共済組合が「いきいき健康あいらんど」48 号～51 号（各 1,000 部×4 回）を追加印刷し、組合員へ配布した。

平成 30 年度の各号の特集テーマは以下のとおりである。

- ① Vol. 48 糖質コントロールでカラダを軽く！
- ② Vol. 49 モテる“筋活”
- ③ Vol. 50 食べるを楽しむやさしい飲み方のススメ
 医師が教える二日酔いしないセルフケア
- ④ Vol. 51 自信がもてる爽やかブレス 歯科医がすすめるオーラルケア

(イ) 健康情報発信（ホームページ）

事業団ホームページにおいて、イベント案内や情報誌「いきいき健康あいらんど」の掲載等、県民の健康づくりを支援するための情報を発信した。

(ウ) マスメディアの活用

a 新聞

年 2 回開催される健康づくり講演会の内容を多くの県民へ提供するため、新聞紙面（1 ページ）を活用した広報展開を行った。

- ・「健康づくりライブトーク 2018」
 掲載日：平成 30 年 10 月 26 日（金） 掲載媒体：琉球新報
- ・「こころの健康づくりトーク 2019」
 掲載日：平成 31 年 3 月 10 日（日） 掲載媒体：沖縄タイムス

b ラジオ

「ラジオいきいき健康あいらんど」の制作・放送

専門医の監修の下、健康づくりに関する情報提供の 5 分間番組（各局週 2 回放送）を制作し、6 ヶ月間放送した。

- ・放送期間：平成 30 年 9 月～平成 31 年 2 月
- ・放送局：FM沖縄（月土）、ラジオ沖縄（火水）、琉球放送（木金）
- ・月間テーマ：9 月「フィットネス・運動」、10 月「健康経営」、
 11 月「食・メタボと生活習慣病」、12 月「飲酒・肝機能」、
 1 月「歯」、2 月「メンタルヘルス」
- ・パーソナリティー：まーちゃん、前田夏希（演芸集団 FEC 所属芸人）

c テレビ

1 適正飲酒啓発テレビCMの制作・放送

県民に対し効果的に健康づくりの啓発を行うため、沖縄県保健医療部が「平成29年度みんなのヘルスアクション創出に係る広報・イベント事業」において制作したテレビCM素材を再編集し、放送を行った。

- ・放送期間：4ヶ月（平成30年5月～平成30年8月）
- ・放送局：琉球放送(RBC)、沖縄テレビ(OTV)、琉球朝日放送(QAB)
- ・放送本数：計165本（RBC 60本、OTV 54本、QAB 51本）

2 健康づくり啓発テレビCMの制作・放送

県民に対し効果的に健康づくりの啓発を行うため、タレントのジリ・ヴァンソン氏を起用しテレビCMを制作・放送した。

- ・CMテーマ：「プラス10分ウォーク」篇、「野菜・果物プラスワン」篇、「健康経営」篇
- ・放送期間：6ヶ月（平成30年9月～平成31年2月）
- ・放送局：琉球放送、沖縄テレビ、琉球朝日放送
- ・放送本数：計858本（RBC 286本、OTV 286本、QAB 286本）
- ・アンケート調査：

インターネット調査会社に依頼し、20歳～59歳の男女（沖縄県在住者限定）のネットリサーチモニタを対象にCM視聴によるインターネット調査を実施した。実施内容は普段の運動習慣・食習慣について、CM認知、CM視聴後の行動。（計208名に対しアンケートを実施）

【調査結果】

CM各篇の認知率及び内容評価は下記のとおり：

- ① プラス10分ウォーク篇：CM認知率 52.9%
＜内容評価＞「わかりやすい内容だった」67.4%
「印象に残った」57.7%
「簡単に健康づくりができると思った」56.7%
「10分歩くことを心がけようと思った」57.1%
- ② 野菜・果物プラスワン篇：CM認知率 53.4%
＜内容評価＞「分かりやすい内容だった」72.1%
「野菜・果物の摂取を心がけようと思った」70.7%
「印象に残った」61.1%
「簡単に健康づくりができると思った」58.2%
- ③ 健康経営篇：CM認知率 37.9%
＜内容評価＞「分かりやすい内容だった」48.1%
「職場環境で健康を考える必要を感じた」52.0%

※CM各篇の認知率はおおむね高く、内容評価についても全体的に肯定的な評価が多かった。『健康経営篇』についての認知率は他の2篇に比べ下がるものの、健康経営の概念を県民に認識させる一定の効果をあげた。

ウ スマートライフサポート事業

(ア) 保険者との連携

a スマートライフセミナー（受託事業）

各共済組合の組合員とその配偶者を対象に生活習慣病の予防を目的とした保健・栄養・運動の一日実践型セミナーを開催した。

(a) 公立学校共済組合沖縄支部

- ・平成30年7月31日(火) 10:00~15:30 参加者数: 61人
会 場: コスタビスタ沖縄ホテル&スパ 1F EM ギャラリー
- ・平成30年8月3日(金) 10:00~15:30 参加者数: 69人
会 場: マリエールオークパイン那覇 4F ムーンライト

(b) 沖縄県市町村職員共済組合

- ・平成30年7月18日(水) 10:00~15:30 参加者数: 37人
会 場: コスタビスタ沖縄ホテル&スパ 1F EM ギャラリー
- ・平成30年7月20日(金) 10:00~15:30 参加者数: 46人
会 場: ロワジールホテル那覇 3F 天妃の間

(c) 地方職員共済組合沖縄県支部

- ・平成30年8月15日(水) 10:00~15:50 参加者数: 44人
会 場: コスタビスタ沖縄ホテル&スパ 1F EM ギャラリー
- ・平成30年8月29日(水) 10:00~15:50 参加者数: 45人
会 場: ロワジールホテル那覇 3F 天妃の間

b 栄養講座 (受託事業)

公立学校共済組合沖縄支部が主催する「生涯生活設計セミナー」において、食に対する意識を高め、生涯を通じて健康的な食生活が実現できるよう栄養講座を開催した。参加者数: 203人。

- ・平成30年7月25日(水)~7月27日(金) 9:30-16:00
会 場: コスタビスタ沖縄ホテル&スパ

(イ) 地域、職域における指導

地域や団体からの依頼により、運動教室等講師として健康運動指導士の派遣を行った。

- ・平成30年6月9日(土) 12:30~13:30、15:30~16:30
GLOBAL WELLNESS DAY in 沖縄空手会館
主催: 一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー
- ・平成30年6月13日(水) 8:05~9:00
なか事務所グループ所員健康増進研修

エ 助成事業

(ア) 市町村健康づくり運動実践活動助成

市町村が実施している健康づくり事業を支援するため、市町村を対象に助成応募者を募り、事業費の10分の7(限度額30万円)の助成を行った。

平成30年度は、金武町ほか11市町村であった。

	市町村名	助成対象事業	開催日	事業内容
1	金武町	金武町健康福祉まつり	H30.12.2	町民の健康増進、保健予防、地域福祉に対する意識の高揚を図るためにイベントを開催した。内容はまーさむんフェア、乳幼児歯科検診、体脂肪測定、骨密度測定、応急手当体験など。参加者数/2000人 会場/町立体育館・体育館下駐車場
2	与那原町	第11回よなばるてくてくウォーク2019	H31.2.3	町民の健康・体力づくりの推進とスポーツ意識の高揚、また、町内の史跡等をコースにすることにより、町の歴史文化への関心を高めるとともに、参加者相互の交流を深め、健康で明るいまちづくりを目指すためにイベントを開催した。参加者数/510人 会場/与那古浜公園発着・与那原町内

3	北谷町	ちゃたん シーサイドウ ォーク 2018	H30. 11. 10	町民の健康づくりの意識の高揚と参加者相互の交流促進、また、西海岸ウォーキングロードの眺望を楽しみながら、運動習慣のきっかけ作りを目指すためにイベントを開催した。 参加者数/350人 会場/北谷公園陸上競技場
4	宜野湾市	宜野湾市 はごろもウ ォーキング大会	H30. 10. 21	「全ての市民が心身ともにいきいきと暮らせる都市」を目指して、市民に運動習慣を定着させるため、健康づくり市民大会と合同でウォーキング大会を開催した。 参加者数/378人 会場/宜野湾市立グラウンド及び宜野湾市立体育館
5	伊是名村	第12回 伊是名村健康 フェア	H30. 10. 13	全村民を対象に福祉行政の制度の周知、健康活動の推進を行い、健康について自覚するきっかけの場とすることを目的とし、食育事業及び運動実践の事業を行った。内容は健康昼食販売、パネル展示、健康体操やマッサージ体験、講演など。 参加者数/約631人 会場/伊是名村産業支援センター
6	国頭村	国頭村 運動啓発推進 プロジェクト	H30. 10. 2 ～ H31. 2. 26	健康づくりへの興味を誘起するため、運動に関する講座(テニス、ヨガ、ボクササイズ、ズンバ、親子フィットネス、ノルディックウォーキング)を開催した。 参加者数/87人 会場/国頭村保健センター・エコスポレクテニスコート・国頭総合体育館・かいぎんフィールド国頭
7	沖縄市	沖縄市 健康ウォーキ ング大会	H31. 1. 12	2世代・3世代ともに参加しやすい環境で「歩く楽しさを知る」ことに重点を置き、市民一人一人が健康への意識を持ち、普段から歩くことを習慣化することを目的にウォーキング大会を開催した。 参加者数/550人 会場/東南植物楽園
8	うるま市	平成30年度 健康うるま21 推進事業	H30. 4～ H31. 3. 31	市民の健康づくりへの意識向上を目指し、健診の重要性を周知することを目的に、健康づくり推進大会を開催した。内容は、健康づくり標語の市民公募、料理教室など。 参加者数/979人 会場/健康福祉センターうるみん
9	宜野座村	第36回 宜野座村健康 ウォーク	H30. 10. 27	ウォーキングで住民のふれあいを通じ、運動を継続する楽しさを参加者みんなで共有し、生活習慣として取り入れることを目的に開催した。宜野座村まつり「いきいきフェスティバル」および健康講演会「快適ウォーキング」を同時に開催した。 参加者数/約120人 会場/宜野座村中央公民館
10	東村	東村健康づく り支援事業	H30. 10～ H31. 3	村民が楽しく身体を動かす環境づくりとしてストレッチ教室を開催し、村民同士の交流を図りつつ、健康づくりに興味を持つ村民を増やしていく目的で行われた。 参加者数/195人 会場/東村営体育館・高江公民館
11	北谷町教育委員会	第34回北谷 町民トリム マラソン大会	H31. 1. 20	町民誰でも気軽に楽しみながら参加できるトリムマラソンを通して、親子のふれあいや地域の人々の交流促進を図ることにより、地域に根ざした「体力づくり」「健康づくり」の場を目的にイベントを開催した。 参加者数/658人 会場/北谷公園屋内運動場
12	北中城村	高齢者健康 支援サービス 「すこやかタ ッチ」	H30. 11. 1 ～ H31. 2. 28	ICTを活用し、高齢者の健康づくりを行う。各種測定機器との無線接続による健康データの見える化を行い、自治会サークルへの参加促進および運動習慣の定着、健康増進を図る目的に開催した。 参加者数/30人 会場/北中城村字和仁屋自治会

(イ) 健康づくり運動実践活動団体助成

広く県民の健康づくりに寄与するため、地域で健康づくり実践活動を継続している団体に対し、事業経費の助成(限度額40万円)を行った。

平成30年度は、沖縄県歯科衛生士会ほか10団体であった。

	団体名	助成対象事業名	開催日	事業内容
1	沖縄県 歯科衛生 士会	第25回 「歯りきり 元気 いい 歯の日」	H30. 11. 4	パネル展示や口腔内の検査コーナー等を通して、歯周病予防や口腔ケアに関する正しい知識を普及するイベントを開催した。 参加者数/440人 会場/サンエー西原シティ

2	社会福祉法人南島会	グラウンドゴルフ大会	H30. 6. 17～ H31. 3. 17	県内各市町村で60歳以上を対象とし、グラウンドゴルフを通して、親睦と健康増進をを目的にイベントを開催した。参加者数/572人 会場/中城村ごさまる陸上競技場、南風原町黄金森公園、与那原町与那古浜公園、西原町東崎公園
3	嘉数ハイツ自治会	嘉数ハイツいきいきガンジュー長寿村	H30. 9. 27～ H31. 2. 26	健康に関する講座や企画を通して老若男女、あらゆる世代がお互いに刺激し合いながら、楽しく健康づくりに取り組めるような仕組みを作っていくことを目的にイベントを開催した。参加者数/106人 会場/嘉数ハイツ公民館
4	NPO法人 沖縄県脊髄損傷者協会	食育から学ぶ健康づくり	H30. 12. 13 H31. 2. 27	身近な話題から食事の重要性を再確認・再認識し、今後の食生活の意識改革を行う目的で、身体障害者向けの食育講座を開催した。参加者数/30人 会場/カエルびあなは
5	上大謝名自治会	上大謝名プラス10で8000歩プロジェクト	H30. 8. 31～ H31. 11. 17	地域住民が健康づくりの継続と地域のつながりを深める目的で、歩数計・歩数・体重記録シートを配布し、健康講座等を開催した。参加者数/140人 会場/上大謝名さくら公園、北谷サンセットビーチ
6	つきしろ自治会	つきしろ健康むら	H30. 10～ H31. 3	区民同士が健康づくりサポーターとなるような場を作り、健康づくりを軸にした、区民同士が積極的に交流を持つことを目的に健康講座（食育、ウォーキング、動作法）、講演会等を開催した。参加者数/68人 会場/つきしろ公民館
7	宜野湾市自治会長会	じのん23健康づくり事業	H30. 9. 27～ H31. 2. 19	各地域の健康や福祉に関する課題や問題を共有するために、研修会と先進地の視察を行った。また、講師を招き「地域における健康・介護予防」や「動作法」について学んだ。参加者数/123人 会場/座間味コミュニティセンター
8	南城市健康づくり推進員連絡協議会	南城市健康づくり推進員育成・強化事業	H30. 12～ H31. 1	健康づくり推進員の育成・充実に図り、その活動を支援していくために研修会を実施し、健康づくり推進員の資質の向上を図るとともに、健康づくり事業のボランティア活動の楽しさを認識させる目的で行った。参加者数/16人 会場/名護青少年の家
9	津波古自治区	津波古区健康サークル育成・充実・強化事業	H30. 7. 1～ H31. 3. 20	区内の健康サークルに講師の派遣等を行い、区民全体の健康意識を高めて、更に健康サークル等を育成・充実・強化した。サークル内容は貯歩とレースサークル、社交・スポーツ教室、ノルディックウォーキング等。参加者数/66人 会場/津波古公民館
10	NPO法人 日本健康運動指導士会 沖縄支部	第11回うまんちゅ健康フェスタ	H31. 2. 24	県民一人一人の健康意識を高め、健康寿命の延伸を目的にイベントを開催した。内容は「沖縄Let`sプチ体操」の紹介や、体力測定、健康相談、骨密度測定、血糖値測定、運動療法ミニ講座、サンプル配布など。参加者数/135人 会場/環境の杜ふれあい
11	沖縄県食生活改善推進員連絡協議会	島野菜を活用した郷土レシピ集の作成	H30. 4. 1～ H31. 3. 31	これまでに考案した島野菜を使ったヘルシーレシピをまとめ、レシピ集を2000部発行し、食生活改善推進員及び市町村に配布した。レシピ集名は「沖縄県食生活改善推進員連絡協議会25周年記念 伝えたい郷土料理」

※米須自治会は助成決定を受けたが、台風により助成事業を開催出来なかったため、助成申請を取り下げた。

(2) 臓器移植普及推進事業

(臓器提供の現況)

沖縄県における慢性透析患者は毎年増加し、平成29年末時点では約4,600人、特に糖尿病による透析患者数は増加の一途をたどっており、平成30年12月末には199人が(公社)日本臓器移植ネットワークに献腎移植希望登録を行っている。

死後の臓器提供には、心臓が停止した後に行う心停止後臓器提供と法的に脳死とされた後に行う脳死下臓器提供がある。これまで平成9年に臓器の移植に関す

る法律が施行されてから、平成 22 年に改正されるまでの約 13 年間では、心停止後臓器提供が多く脳死下臓器提供件数は全国で 86 例であった。しかし、臓器移植改正法の施行後は年々増加し、法施行から 20 年が経過した平成 29 年は 76 例と過去最も多い脳死下臓器提供数があった。沖縄県においても平成 26 年に県内初の脳死下臓器提供が沖縄県立中部病院で実施されてからは、脳死下臓器提供の数が増えてきている。これまでに 76 人（うち脳死下臓器提供:4 例）の方から臓器提供がなされ、173 人の方へ献腎移植されている。

ア 臓器移植コーディネーター受託事業

臓器移植連絡調整者設置事業を沖縄県から受託し、平成 29 年度より臓器移植コーディネーターを 2 人配置し、移植に関わる医療機関の医師及び院内コーディネーターとの情報交換や移植医療の普及啓発の強化を図った。

(ア) 臓器提供者（ドナー）発生時の対応（あっせん業務）

平成 30 年度の本県におけるドナー情報数は 16 件であった。そのうち、1 人の方（ドナー）が脳死下で腎臓を提供された。また、県外の方（ドナー）から腎臓の提供があり、県内で 2 人の患者（レシピエント）へ腎臓移植が行われた。

数字：県内実績件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
情報数	1	3	0	2	3	1	1	2	0	0	2	1	16
提供数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
移植数	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2

※県外のドナーより提供があり移植を行った。

(イ) 臓器移植推進委員会の開催

臓器移植医療の専門的立場からの指導助言を受け、臓器の移植医療に対応できる組織体制を構築する必要があることから、専門医による推進委員会を開催した。

○第 1 回

開催日時：平成 30 年 6 月 21 日（木）19:30～21:00

開催場所：沖縄県保健医療福祉事業団 5 階会議室

○第 2 回

開催日時：平成 30 年 10 月 25 日（木）19:30～21:00

開催場所：沖縄県保健医療福祉事業団 5 階会議室

○第 3 回

開催日時：平成 31 年 3 月 20 日（水）19:30～21:00

開催場所：沖縄県保健医療福祉事業団 5 階会議室

イ 医療機関の移植医療体制整備事業

(ア) 病院啓発

県内医療機関を延べ 140 回以上巡回し、勉強会や移植関連情報の提供を行い院内体制の充実に努めた。また、行政や警察などの関係機関を延べ 10 回以上訪問し連携強化を図った。

(イ) 臓器提供に関する調査の実施

中頭病院（平成 31 年 1 月 25 日～2 月 1 日）

(ウ) 沖縄 TPM モデル臓器提供ワークショップセミナーの開催

臓器提供の意義を理解しチームとして臓器提供に関わるための基礎的な流れや知識を習得する。本セミナーはスペインで開催されている移植医療セミナー (TPM) を参考に開催し、移植医療のスキルアップを図る。また、病院での活動がスムーズに行えるよう、ドナー候補者の評価やドナー家族へのアプローチの方法などロールプレイを通して臓器提供の実際や医療倫理などを学び、意思確認の件数や臓器提供の増加につなげる。

開催日時：平成 31 年 2 月 23 日 (土) 13:00～17:00

開催場所：沖縄県医師会館 会議室 1

参加者：20 人

(エ) 移植医療セミナー (TPM) への派遣

移植医療推進のため、臓器提供者 (ドナー) の発見、脳死診断、ドナー家族へのアプローチ法等を学習するセミナーへ救急医等の専門家を派遣した。

派遣先：スペイン バルセロナ

派遣者：那須 道高 (浦添総合病院 集中治療・重症管理部長)

研修期間：平成 30 年 11 月 12 日 (月) ～16 日 (金)

ウ 県民への普及啓発事業

(ア) 臓器提供意思表示カードの配布及び所持・意思表示欄への記載を推進するため、県、市町村及び関係機関の協力を得てカードの設置や健康保険証・自動車免許証等への記載推進について普及啓発を行った。

○市町村、関係機関等へ意思表示カードの補充を行った。

○臓器提供の意思表示を呼びける県内版リーフレットをリニューアルした。

○意思表示関連ブックカバーを 1 万枚作成し、ジュンク堂、戸田書店、球陽堂書店、未来屋書店、沖縄教販の県内の書店 6 社 13 店舗へ配布した。

○臓器提供意思表示の普及推進の為、新聞紙面の一面などへ広告掲載した。

琉球新報・・・49 回 沖縄タイムス・・・48 回

(イ) 臓器移植普及推進月間 (10 月) 行事

毎年 10 月に実施している「臓器移植普及推進月間行事」を沖縄県、(公財) 沖縄県アイバンク協会、(一社) 沖縄県医師会、(一社) 沖縄県腎臓病協議会、沖縄県臓器移植推進協議会、(公社) 日本臓器移植ネットワークなどとの共催により次のとおり実施した。

a 街頭キャンペーン

開催日時：平成 30 年 10 月 14 日 (日) 16:00～17:00

開催場所：那覇市パレットくもじ前広場

内容：関係団体等が一同に会しセレモニーを行った後、道行く県民へリーフレット及びシンポジウム案内チラシの配布を行った。

今年度はより多くの方に手に取っていただけるよう、シンポジウム告知用のうちわを制作し、配布した。

b 観覧車グリーンライトアップ

開催日時：平成 30 年 10 月 16 日 (火) 18:00～22:00

開催場所：北谷町美浜カーニバルパーク観覧車

内容：移植医療のシンボルマークであるグリーンリボンにちなみ、観覧車をグリーン一色にライトアップした。ライトアップは観覧

車を管理運営するシュアラスターホールディングス（株）の無償協力で行った。

C 臓器移植を知るシンポジウム 2018

テーマ：「～生命を紡ぐ～ アナタの勇気が ^{いのち} その一歩」

開催日時：平成 30 年 10 月 28 日（日）14:00～16:00

開催場所：沖縄県立博物館・美術館 講堂

内 容：

- 司会者 松田礼那
- 表彰式 キャッチフレーズ最優秀賞 造倉 そらの
沖縄グリーンリボンアート展 沖縄御万人賞 金城 さくら
沖縄グリーンリボンアート展 審査員賞 儀保 真智子
- 献腎移植体験者発表 宮城 輝
- 心臓移植体験者発表 渡邊 源喜
- 基調講演 「Kids can be KIDS！ ～笑顔あふれる移植キャンプ～」
慶應義塾大学 看護医療学部 准教授 添田 英津子
- 質疑応答 和氣 亨 （臓器移植推進協議会 広報委員長）
添田 英津子（慶應義塾大学 看護医療学部 准教授 添田 英津子）
渡邊 源喜 （心臓移植体験者）
松田 瞳 （沖縄県立中部病院レシピエントコーディネーター）

(ウ) 沖縄グリーンリボンアート展 2018 の開催

シンポジウム会場や県庁、県立病院において、作品展を開催し移植医療について県民の関心を高めることを目的に行った。

- 県立南部医療センター：平成 30 年 6 月 19 日（火）～7 月 31 日（金）
- 県庁県民ホール：平成 30 年 9 月 10 日（月）～9 月 14 日（金）
- 県立南部医療センター：平成 30 年 10 月 22 日（月）～11 月 16 日（金）
- 県立中部病院：平成 30 年 11 月 16 日（金）～平成 30 年 12 月 7 日（金）

(エ) イベントの活用

臓器提供意思表示カード及びパンフレットの配布を下記のとおり行った。

- Global Wellness Day～空手体験 in 沖縄空手会館～
開催日時：平成 30 年 6 月 9 日（土）
開催場所：沖縄空手会館
- 第 20 回エイサー in いとまん
開催日時：平成 30 年 9 月 9 日（日）
開催場所：糸満市南浜広場
- 琉球ゴールデンキングス主催試合
開催日時：平成 30 年 10 月 13 日（土）
開催場所：沖縄市民体育館
- 第 20 回いとまんピースフルイルミネーション
開催日時：平成 30 年 12 月 15 日（土）・16 日（日）
開催場所：うちなーファーム
- 第 1 回いとまん平和トリムマラソン
開催日時：平成 31 年 3 月 16 日（土）
開催場所：糸満市西崎総合体育館

(オ) 移植医療情報の提供

平成 27 年度に制作・放送したCMを、引き続き本数を増やして放送を行った。

○臓器提供意思表示啓発ラジオCM

テーマ：「聞いてみよう、家族のキモチ。」娘篇、母親篇、父親篇各 20 秒
放送期間：平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月

放送局：FM 沖縄 (259 本)、ラジオ沖縄 (140 本)、RBCi ラジオ (140 本)

放送本数：計 539 本

※「聞いてみよう、家族のキモチ。」シリーズ

第 34 回 沖縄広告賞 ラジオ広告 ラジオシリーズCM部門 金賞受賞

※「聞いてみよう、家族のキモチ。」母親篇

第 34 回 沖縄広告賞 ラジオ広告 20 秒以内CM部門 金賞受賞

○映画館広告 (シネアド)

既に制作された評価の高いラジオCM素材を活かした動画を制作し、10 月に県内の映画館 4 か所で移植医療・臓器提供についての情報を発信した。

・シネマQ 10/15(月)～10/21(日)

作品指定 全 45 回

・シネマライカム 10/18(木)～10/31(水)

スクリーン指定① 全 65 回

・サザンプレックス 10/18(木)～10/31(水)

スクリーン指定① 全 64 回

・ミハマセブンプレックス 10/18(木)～10/31(水)

スクリーン指定⑧凄音 全 62 回

○バス車内CM放送

臓器提供の意思表示を呼び掛けるCMを県内の主要路線を走る 5 路線のバスの車内で放送した。

(放送期間：平成 30 年 4 月 25 日～平成 31 年 3 月 31 日)

・90 知花線 (琉球バス) おもろまち駅前 2,992 回

・23 具志川線 (琉球バス) 屋富祖 3,511 回

・89 糸満線 (琉球バス・沖縄バス) 旭町 4,218 回

・6 那覇おもろまち線 (那覇バス) 県庁南口 2,543 回

・98 琉大線 (琉球バス) 県庁北口 2,177 回

エ 日本臓器移植ネットワーク都道府県支援助成事業

(ア) ○平成 30 年度第 1 回沖縄県移植情報担当者会議

開催日時：平成 30 年 6 月 28 日 (木)

開催場所：沖縄県庁 4 階会議室

参加者：31 人 (15 施設)

内 容：

開会のあいさつ

沖縄県保健医療部 地域保健課 課長 山川 宗貞

講演「日本臓器移植ネットワークより報告」

鮫島 由起子 (日本臓器移植ネットワーク)

講演「アイバンク活動報告」

西 昌子 (沖縄県アイバンク協会)

講演「沖縄県の臓器提供の現状」
仲間 貴享（沖縄県保健医療福祉事業団）
症例報告
福井 英人（浦添総合病院 医師）

○平成 30 年度第 2 回沖縄県移植情報担当者会議

開催日時：平成 31 年 1 月 18 日（金）
開催場所：沖縄県三重城合同庁舎 8 階 特別研修室
参加者：25 人（14 施設）
内 容：
開会のあいさつ
沖縄県保健医療部 地域保健課 課長 山川 宗貞
講演「アイバンク活動報告」
西 昌子（沖縄県アイバンク協会）
講演「コーディネーター活動報告」
仲間 貴享（沖縄県保健医療福祉事業団）
講演「TPM 研修会参加報告」
孫 宰賢（豊見城中央病院 脳神経外科部長）
基調講演 「臓器提供意思の尊重～高齢化社会に向けて～」
篠原 嘉一（愛媛県臓器移植コーディネーター）

オ 助成事業

(ア) 組織適合性検査の助成

献腎移植登録可能施設（沖縄県立中部病院・豊見城中央病院）で、組織適合性検査を受けた臓器移植希望者 27 人に対して、一人 2 万円の助成を行った。

(イ) 臓器移植普及啓発活動団体助成事業

今年度より広く県民に臓器移植が正しく理解されることを目的に、県内において臓器移植の普及啓発活動を実施している保健・医療・福祉団体等に対し助成を行った。

- 沖縄県腎臓病協議会（10 万円）
- 沖縄県アイバンク協会（10 万円）

カ 賛助会員の募集

賛助会員（1 口：3 万円）加入の協力を、医療機関及び企業団体等に呼びかけたところ、19 団体から 19 口、57 万円の会費収入があった。

(3) ファミリーハウス事業

離島など遠隔地から「南部医療センター・子ども医療センター」等に入院又は受診する難病等の子どもや付添い家族のための滞在施設として、ファミリーハウス「がじゅまるの家」の運営を NPO 法人「こども医療支援わらびの会」に委託して行い、病児及び家族の経済的負担や精神的不安の解消に努めた。また、施設開所 10 周年を記念し、記念事業を行った。

ア 平成 30 年度の稼働率及び利用者数等の実績

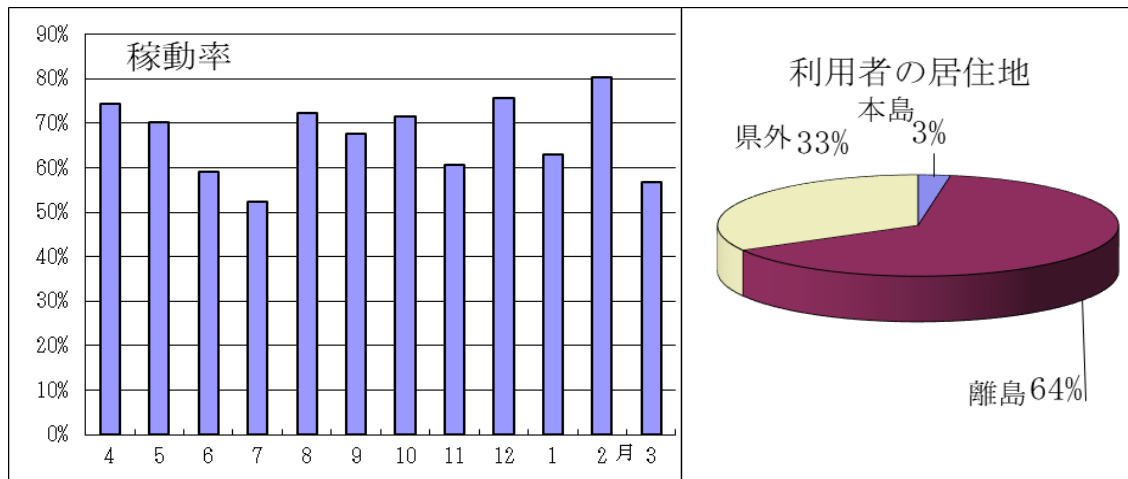
＜ファミリーハウス「がじゅまるの家」利用状況＞

月	営業日数	利用室数	稼働率	利用者数（人）				
				沖 縄 県			県外	合計
				本島	離島	計		
4	30	223	74.3%	1	153	154	165	319
5	31	218	70.3%	8	159	167	111	278
6	30	172	59.3%	0	196	196	51	247
7	31	162	52.3%	16	185	201	74	275
8	31	211	72.3%	49	247	296	141	437
9	30	162	71.6%	11	133	144	152	296
10	31	222	60.7%	12	166	178	128	306
11	30	182	75.8%	2	191	193	99	292
12	31	235	62.9%	3	310	313	97	410
1	31	195	80.4%	0	318	318	76	394
2	28	225	81.1%	0	310	310	132	442
3	31	176	56.8%	1	182	183	90	273
計	365	2,383	65.3%	168	2,550	2,653	1,316	3,969

※年度別稼働率 H20:56.7%、H21:57.0%、H22:77.7%、H23:70.1%、H24:71.9%、H25:71.6%、H26:58.5%
H27:64.6%、H28:67.6%、H29:66.9%、

住居地別利用者数(人)

沖縄県	2,653	鹿児島県	816	埼玉県	40	群馬県	7
大阪府	5	神奈川県	17	兵庫県	71	山口県	41
千葉県	93	奈良県	6	東京都	34	宮崎県	39
山梨県	4	福岡県	51	台湾	9	高知県	24
韓国	10	北海道	7	外 8 県	42	計	3,969



イ 10周年記念事業

(ア) 記念シンポジウムの開催

～たくさんのありがとうを伝えたい～をテーマに、施設の存在や、ボランティアの協力により運営されていることを、広く県民に周知した。

日 時：平成 30 年 11 月 17 日（土） 14：00～16：00

場 所：タイムスホール 参加人数：210 名

内 容：【第 1 部】

講演①：全国で展開する子どもと家族のための滞在施設

講 師：江口八千代（認定NPO法人ファミリーハウス理事長）

講演②：医療と生活の繋がり～患者に寄り添う～

講 師：宮城雅也（南部医療センター子ども医療センター・母子センター長）

講演③：多くの人に支えられ 10 周年

講 師：儀間小夜子（NPO 法人子ども医療支援わらびの会事務局長）

【第 2 部】

ステージ：しおりスペシャルライブ（沖縄県出身のシンガーソングライター）

（イ）施設環境整備及び植栽整備事業

近隣地との境界に、転落防止柵の移設や新規設置、園庭の美観を高めるためにカラーフェンスの設置を行った。また、施設裏庭（傾斜地）の植栽整備として、花壇及び擬木階段を設置し、平成 30 年 10 月 26 日（金）に、記念植樹（ホウオウボク）を行った。

（4）勤労者福祉事業（就労支援事業）

勤労者の福祉の向上等に取り組む団体が行う事業で、地域において勤労意欲のある者に対する就労の支援に対し、その必要経費の一部を助成した。

1 助成団体：（公財）沖縄県労働者福祉基金協会（以下「労福協」という。）

2 労福協への助成事業

（ア）就労困難者に対する雇用に関する相談及び指導

a 就労訓練事業

・PC 入力作業、アンケート入力・集計、事務作業等

訓練期間：2 カ月～4 カ月

受講者：3 人

b 就労体験

・農作業やピッキング作業等

実施回数：49 回

参加者数：113 人

c ソーシャルプログラム

・知的・発達障害や疑いのある人や長期離職者が参加する、スポーツを通じたのチームビルディングコミュニケーションプログラム

実施日：11/9

受講者：19 人

（イ）就労困難者に対する雇用に関する情報収集及び提供

a 無料職業紹介事業

・「就労困難者」にマッチングした求人開拓

実施回数：随時

紹介数：24 人中、採用 19 人

b 合同企業説明会

・企業面接の準備から説明会まで

実施日：11/9, 11/12

参加人数：61 人

- (ウ) 資格取得、技術または技能の習得等職業能力を高める事業
- a 調理師資格取得試験準備講習会
場所：那覇、北部、中部にて集中講座
参加者数：17人
就職者：15人
県全体の合格率は57.4%だが集中的に講座を行う事で、60%の合格率を出している。
 - b 原付免許取得直前講習
実施回数：1回
参加者数：1人
 - c パソコン検定取得直前講習
実施回数：4日間×3回
参加者：11人
 - d パソコン初歩セミナー
実施回数：5日連続セミナー13回
受講者：75人
- (エ) その他就労支援のために必要な事業
- a 支援員スキルアップ研修（人材育成）
実施回数：9回
参加者数：187人
 - b 働く仲間のゆめ・みらい基金（「働く」につなげる支援）
支援者数：124人
就職・増収者：28人
資格取得：9人
 - c 定着支援（働いている企業へ訪問し定着に向けた面談、環境整備等）
実施回数：16回

事業の延べ参加者数：1104人

※ 労福協 就労サポートセンター事業の実施状況

セミナー・研修名		4月～3月	
		実人数	合格率
		就職率 (進路決定者を含む)	
(ア)	a 就労訓練事業	3	
	b 就労体験	113	
	c ソーシャルプログラム	19	
(イ)	a 無料職業紹介事業	35	54%
	b 合同企業説明会	61	
(ウ)	a 調理師資格取得試験準備講習会	17	60%
	b 原付免許取得直前講習	1	100%
	c パソコン検定取得直前講習	11	81%
	d パソコン初歩セミナー	75	
(エ)	a 支援員スキルアップ研修	187	
	b 働く仲間のゆめ・みらい基金	124	22.6%
	c 定着支援	16	
延べ人数（リピーター） 1104人		新規人数	220人 22%

(5) 現有資産の活用

ア 事業団が所有する施設（旧健康増進センター）を民間フィットネス事業者（株式会社フィットネスプロモーション）他3件へ賃貸借契約により賃貸した。また、敷地内から湧出する温泉は動力装置により汲み上げ、温泉施設へ安定供給を行った。

（株）フィットネスプロモーションが運営するジスタス浦添の平成30年度施設利用者の延べ人数は約510,000人となっており、県民の健康増進に活用された。

(6) 事業拡充計画の実施状況

事業内容及び決算額ともに、ほぼ計画通りの実施となった。

ア 事業拡充計画資産

実施部門	事業名	予算額	決算額
健康づくり	健康づくり強化推進事業（団体等連携事業）	10,000,000	9,990,000

イ 周年事業積立資産

実施部門	事業名	予算額	決算額
ファミリーハウス	10周年記念事業（シンポジウム開催事業）	3,000,000	2,995,043
	〃（施設環境整備及び植栽整備事業）	1,700,000	1,686,000

(7) 資金運用

平成30年度は、当初予算に対して約3%上回る収入を確保することができた。しかしながら、世界的に経済成長の減速の懸念が高まりつつある中、低金利が続き、さらに運用環境は厳しくなっている。また、豪ドル為替に連動する債券については、想定為替より円高傾向となったため利回りが低くなっており、日経平均株価に連動する債券については、1件の早期償還があったが、比較的安定した利回りを確保することができた。全体の実績では、前年度の利回りより0.2%（約1,500万円）低下した。

ア 損益ベース（正味財産増減計算書から）

運用の種類	平成30年度				平成29年度				対前年度増△減	
	運用額 (千円)	構成 比	運用益 (千円)	利回 り	運用額 (千円)	構成 比	運用益 (千円)	利回 り	運用 額 (千 円)	運用益 (千円)
銀行預金	1,720,000	22.4%	2,190	0.12%	1,720,000	22.4%	3,166	0.18%	0	△976
有価証券	5,960,000	77.6%	149,141	2.50%	5,960,000	77.6%	163,503	2.74%	0	△14,362
計	7,680,000	100%	151,331	1.97%	7,680,000	100%	166,669	2.17%	0	△15,338

※3月27日に償還された有価証券5.6億円を含む。